



2014年3月期 第2四半期決算説明会

富士機械製造株式会社

Nov. 2013

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

第2四半期連結業績実績

(単位:百万円)	12.4-12.9 実績	12.4-13.3 実績	13.4-13.9 予想 (5月9日)	13.4-13.9 実績	対前年 同期 増減率	予想 増減 (5月9日比)
売上高	40,584	64,349	40,000	36,568	△9.9%	△3,431 △8.6%
営業利益	4,466	3,913	3,800	2,975	△33.4%	△824 △21.7%
営業利益率	11.0%	6.1%	9.5%	8.1%	△2.9%	△1.4%
経常利益	4,440	4,406	4,000	3,363	△24.3%	△636 △15.9%
当期純利益	2,921	2,698	2,700	2,348	△19.6%	△351 △13.0%
一株当たり 当期純利益	円 29.88	円 27.60	円 27.62	円 24.02		
一株当たり 配当金	円 17.50	円 22.50	円 ※ 10.00	円 10.00		

注) 平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。

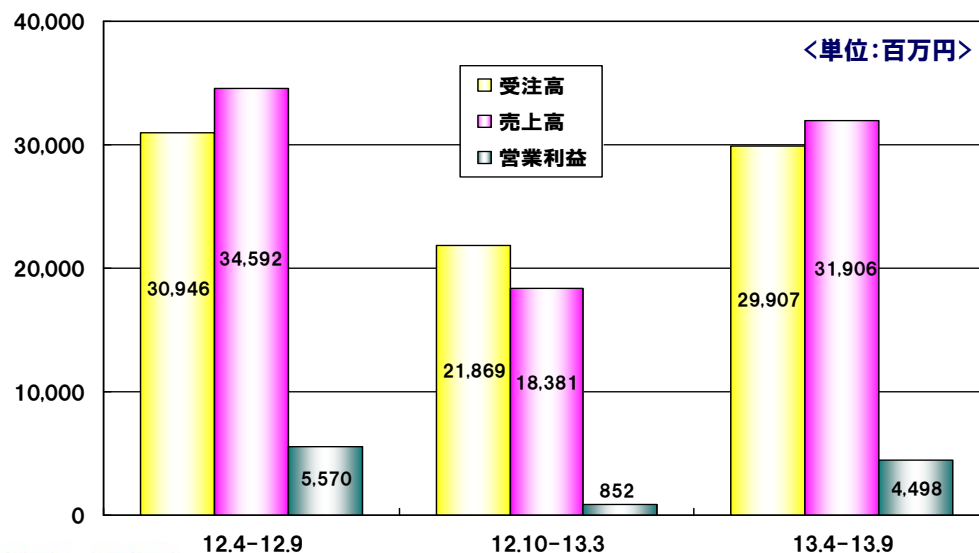
1株当たり当期純利益につきましては、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算出しております。

※ 8月8日修正予想

連結業績

電子部品組立機事業

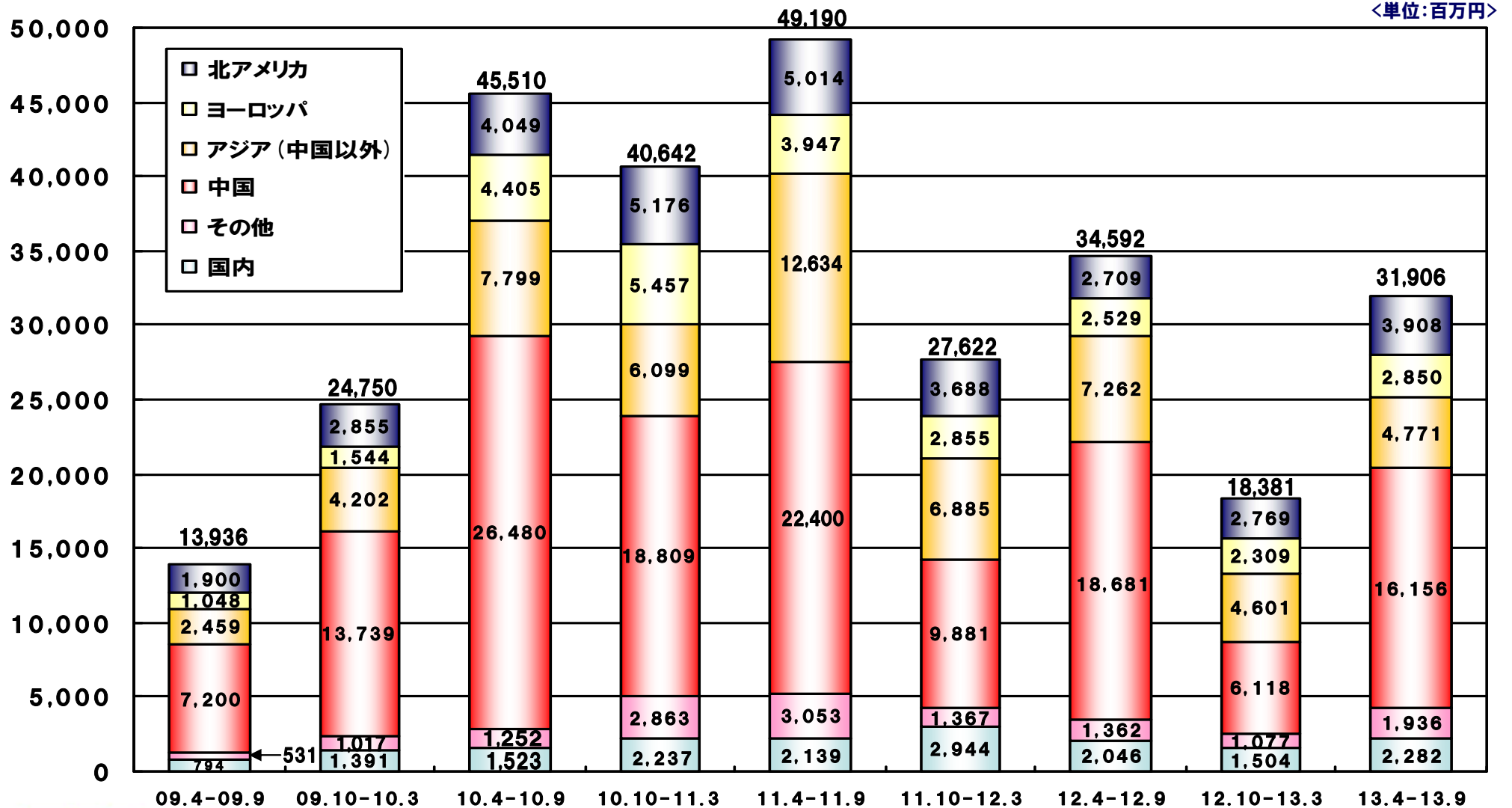
(単位:百万円)	12.4-12.9 実績	12.4-13.3 実績	13.4-13.9 予想 (5月9日)	13.4-13.9 実績	対前年 同期 増減率	予想 増減 (5月9日比)
受注高	30,946	52,816	34,300	29,907	△3.4%	△4,392 △12.8%
売上高	34,592	52,973	34,100	31,906	△7.8%	△2,193 △6.4%
営業利益	5,570	6,423	—	4,498	△19.3%	—
営業利益率	16.1%	12.1%	—	14.1%	△2.0%	—



NXT III
Fuji Scalable Placement Platform

連結業績

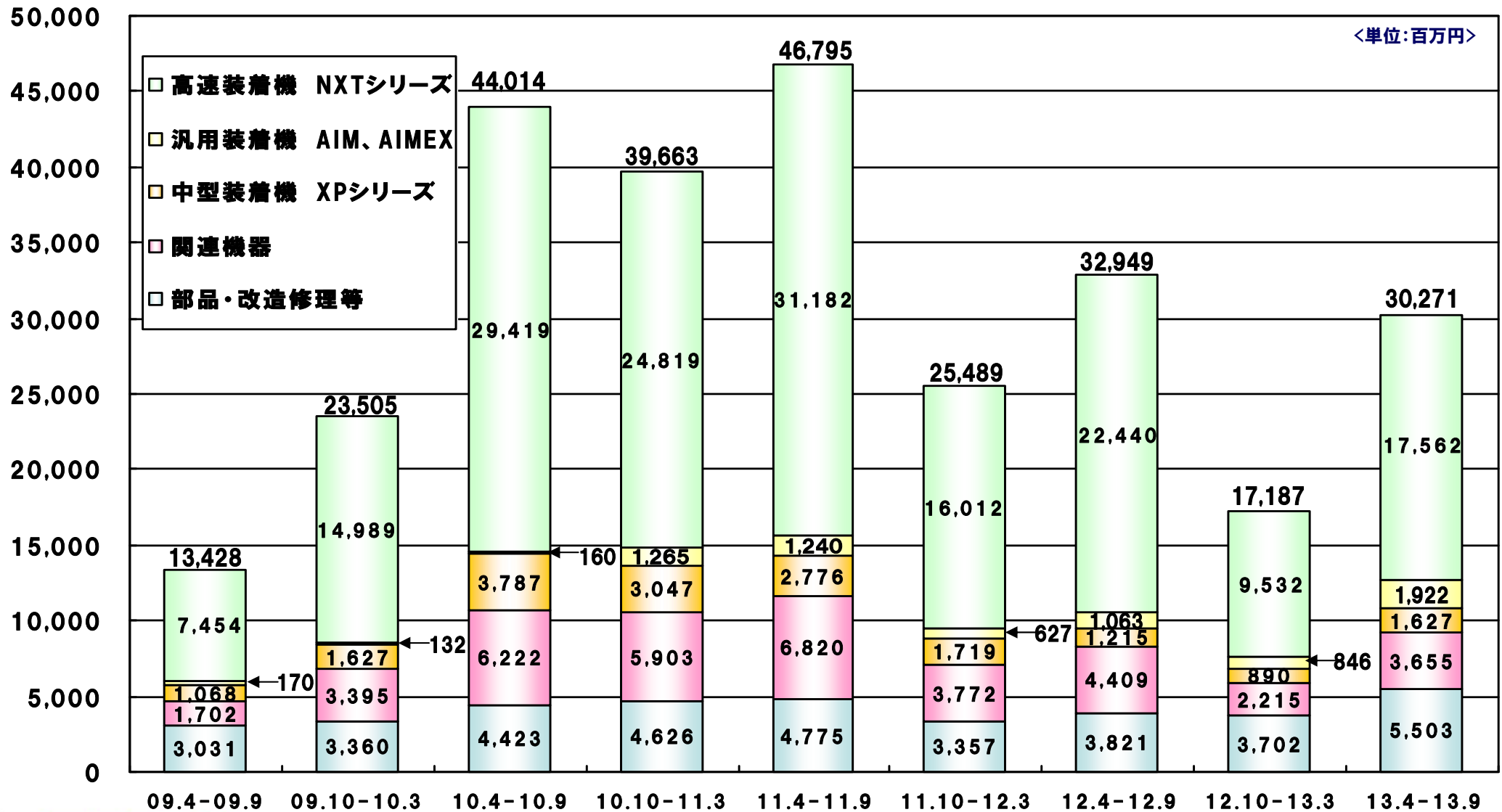
電子部品組立機事業 地域別売上高



単体業績

電子部品組立機事業

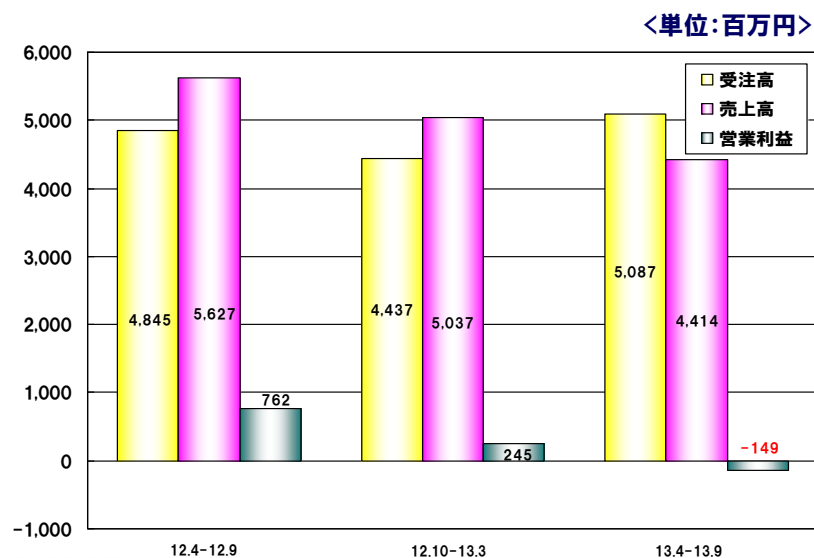
機種別売上高



連結業績

工作機械事業

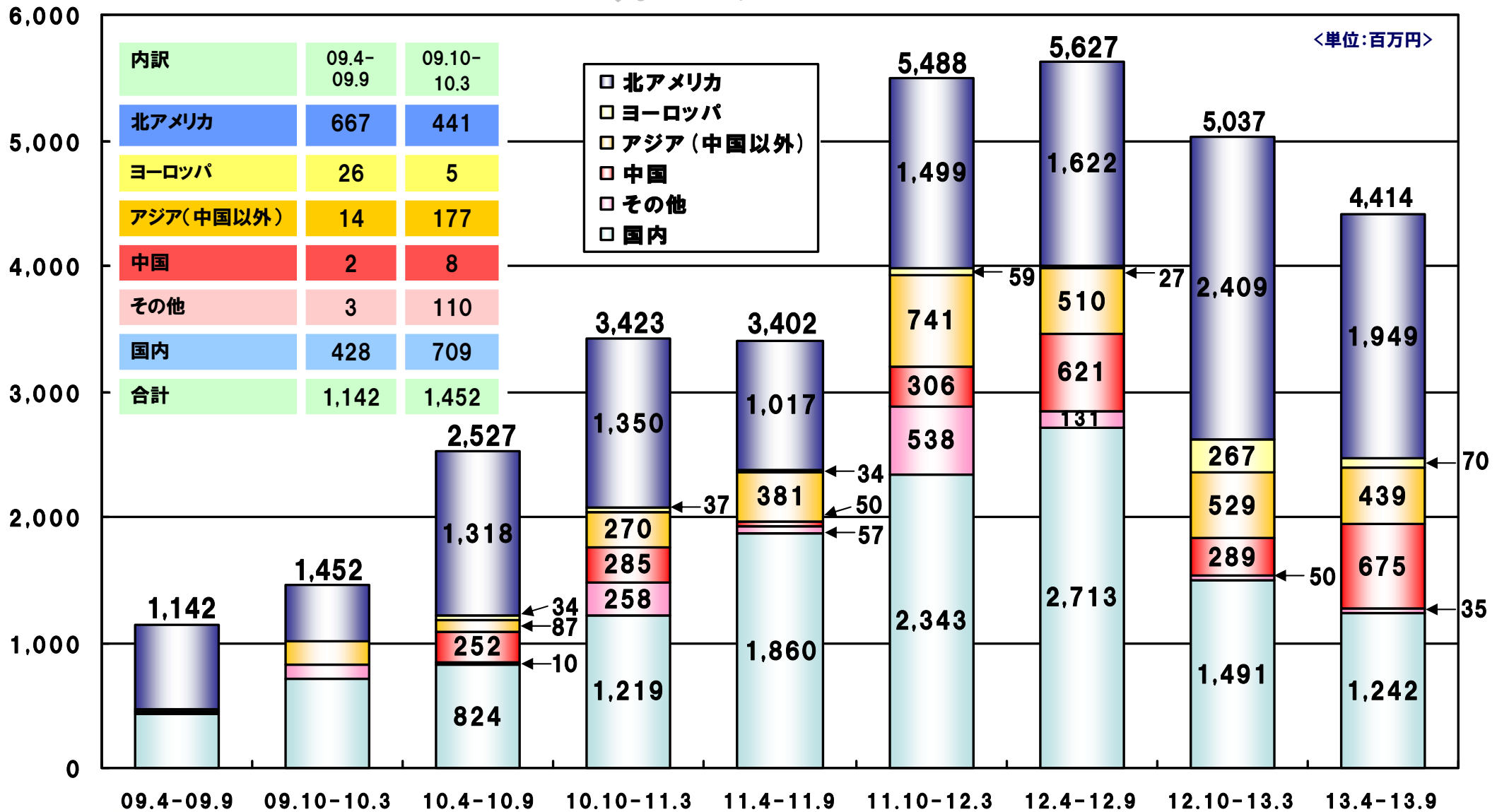
(単位:百万円)	12.4-12.9 実績	12.4-13.3 実績	13.4-13.9 予想 (5月9日)	13.4-13.9 実績	対前年 同期 増減率	予想 増減 (5月9日比)
受注高	4,845	9,283	6,300	5,087	5.0%	△1,212 △19.3%
売上高	5,627	10,664	5,500	4,414	△21.5%	△1,085 △19.7%
営業利益	762	1,007	—	△149	—	—
営業利益率	13.5%	9.4%	—	△3.4%	—	—



TN300

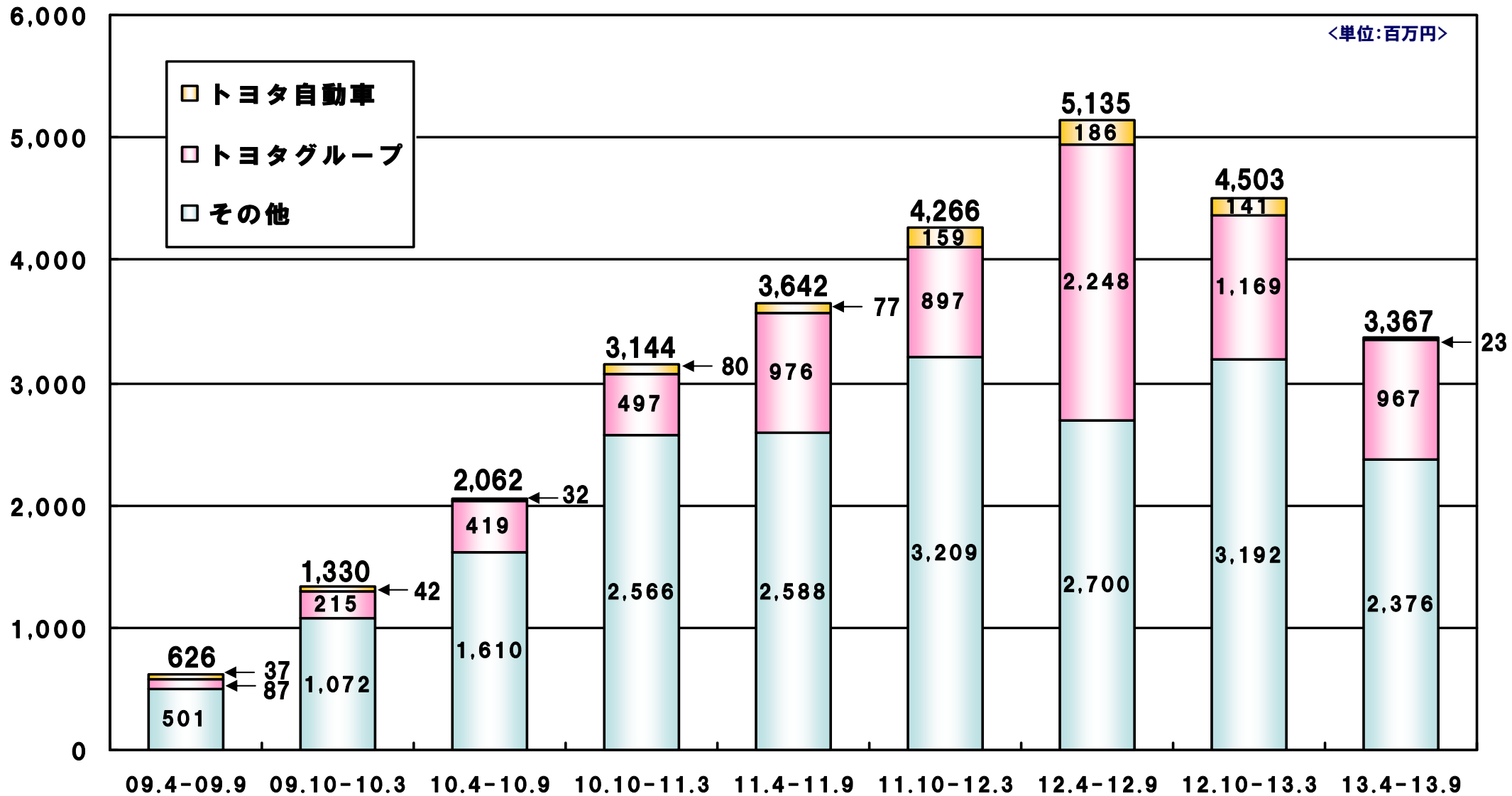
連結業績

工作機械事業 地域別売上高



単体業績

工作機械事業 主要ユーザー別売上高



業績予想

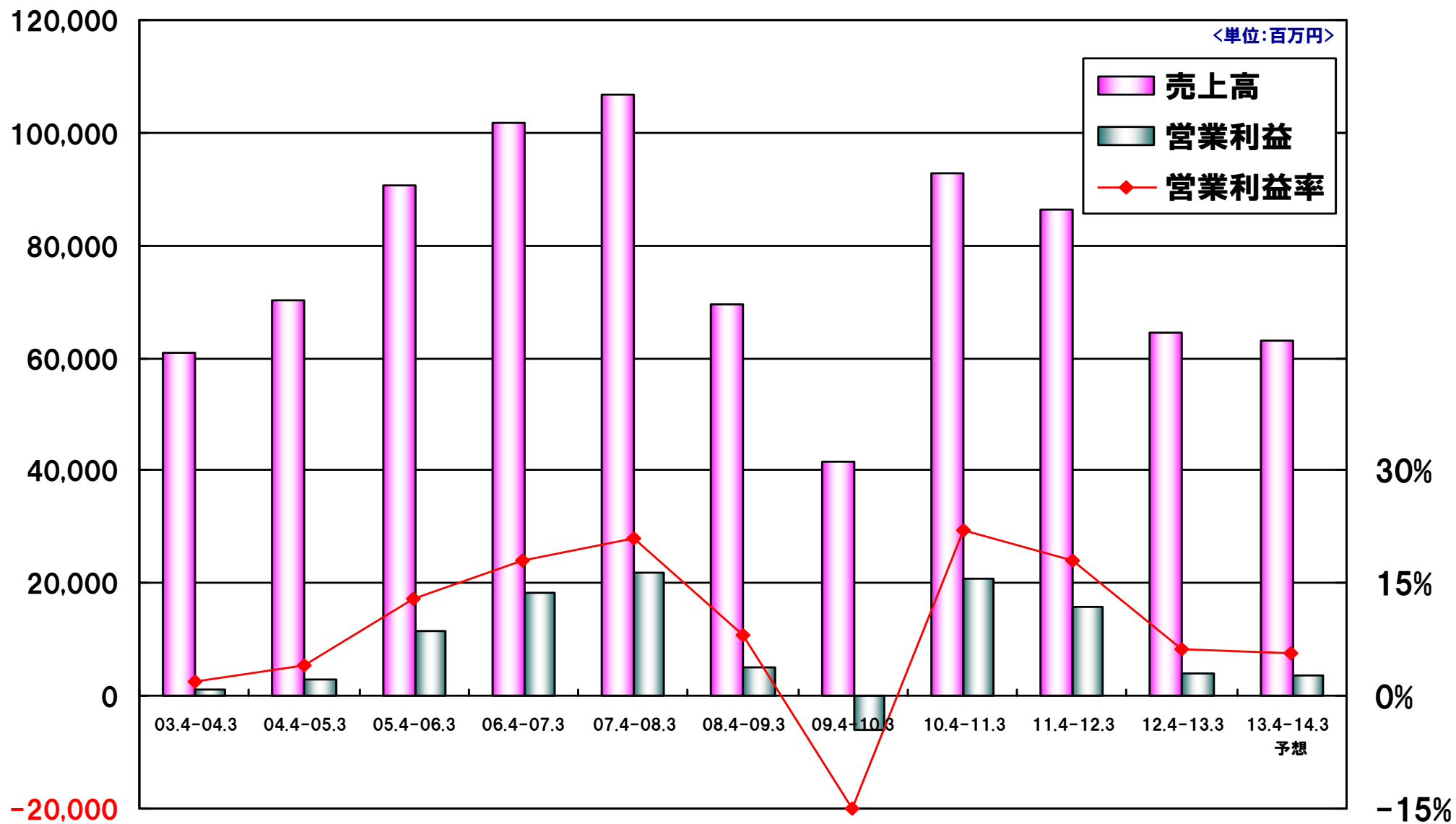
連結業績予想

(単位:百万円)	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 期初予想 (5月9日)	13.4-14.3 修正予想 (11月7日)	対前期 増減率
売上高	64,349	73,000	63,000	△2.1%
営業利益	3,913	6,200	3,600	△8.0%
営業利益率	6.1%	8.5%	5.7%	△0.4%
経常利益	4,406	6,500	3,900	△11.5%
当期純利益	2,698	4,300	2,800	3.8%
一株当たり 当期純利益	円 27.60	円 43.99	円 28.64	
一株当たり 配当金	円 22.50	円 12.00	円 16.00	

注) 平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しており、当該株式分割の影響を考慮した場合、前期の年間配当金は、1株につき13円75銭となります。

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

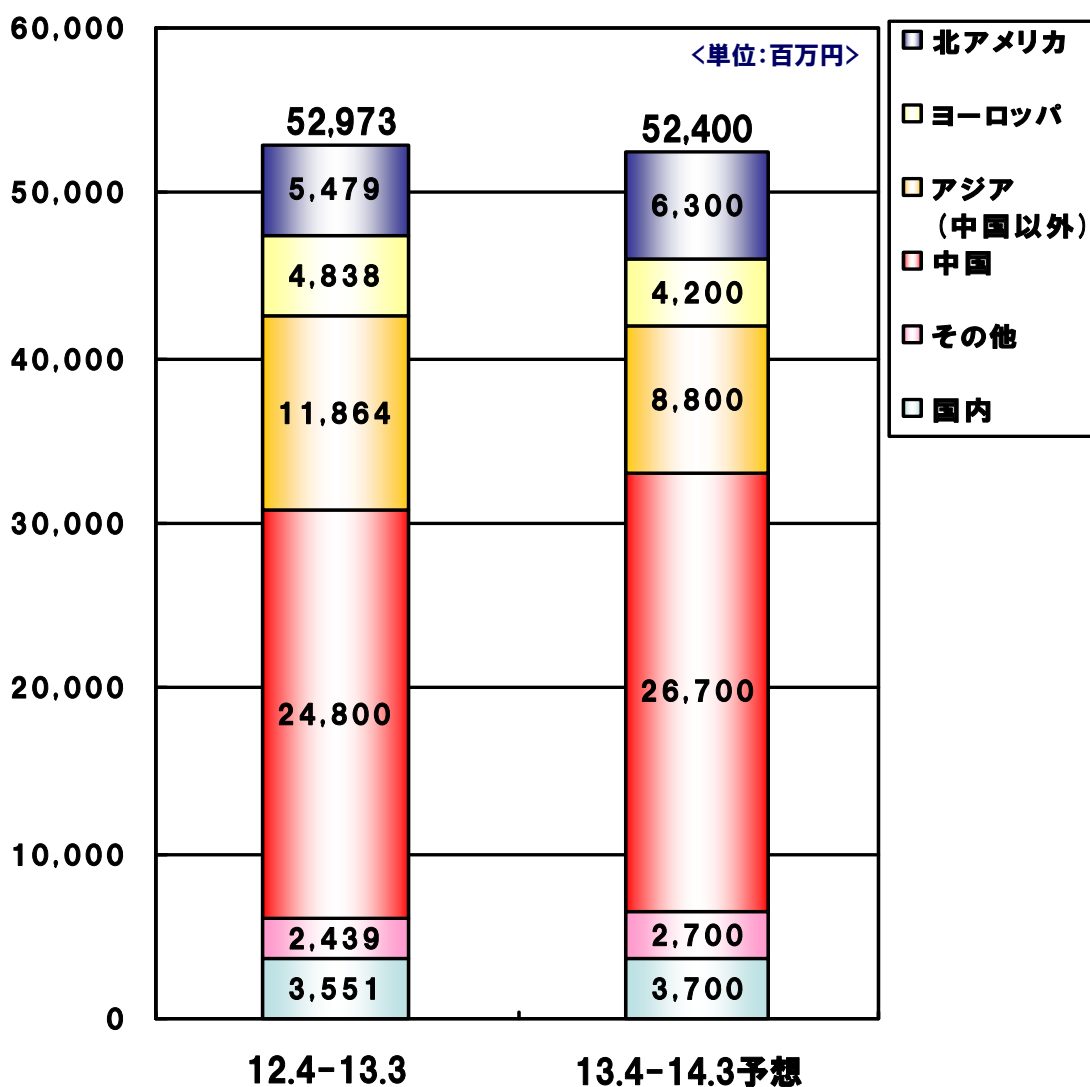
受注残高

(単位:百万円)	受注高			売上高			受注残高		
	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 予想 (11月7日)	対前期 増減率	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 予想 (11月7日)	対前期 増減率	13.3 実績	14.3 予想 (11月7日)	対前期 増減率
電子部品組立機	52,816	52,400	△0.8%	52,973	52,400	△1.1%	6,743	6,743	0.0%
工作機械	9,283	12,100	30.3%	10,664	10,100	△5.3%	4,085	6,085	48.9%
その他	683	500	△26.9%	710	500	△29.7%	54	54	0.0%
合計	62,783	65,000	3.5%	64,349	63,000	△2.1%	10,884	12,884	18.4%

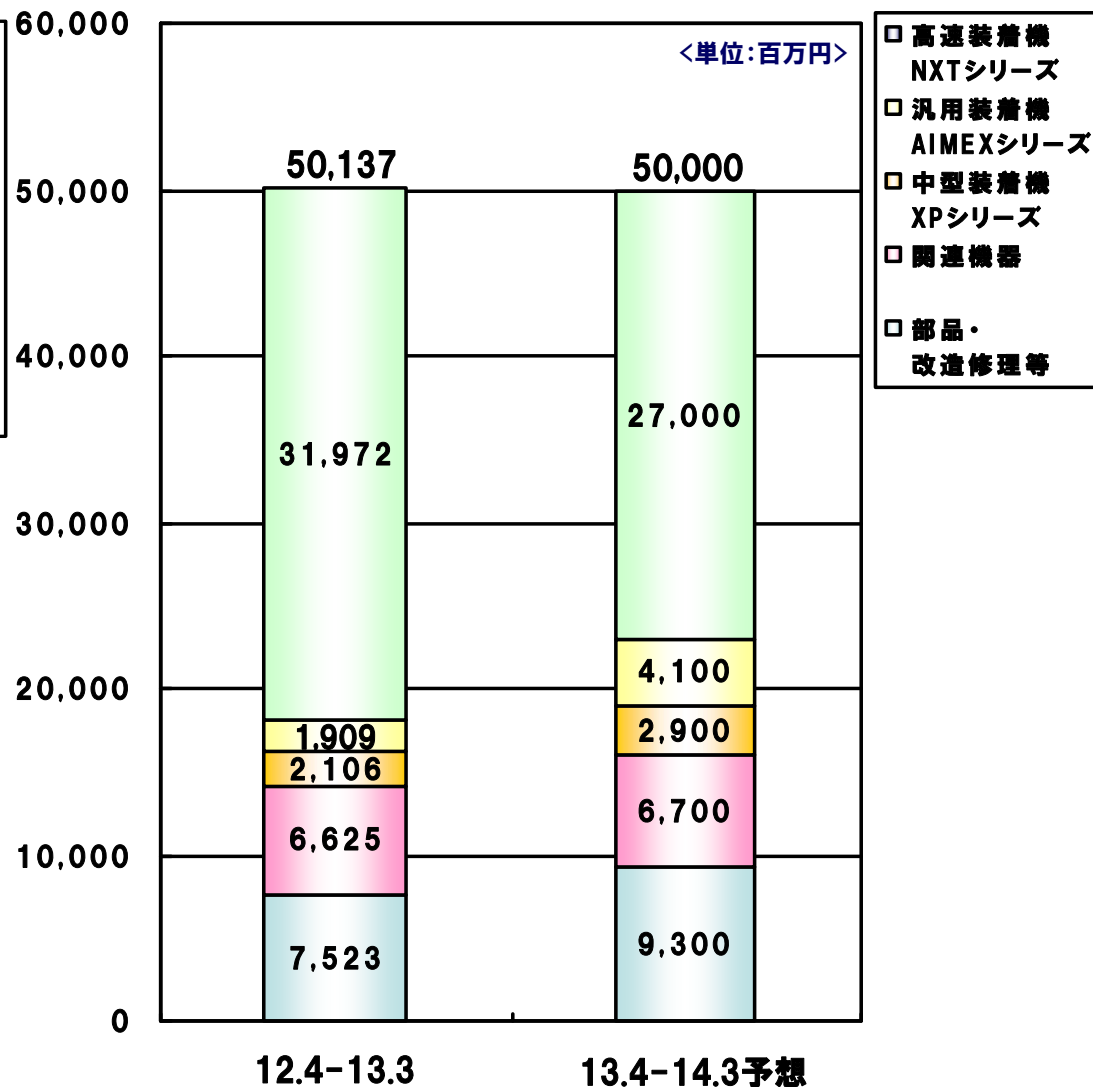
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



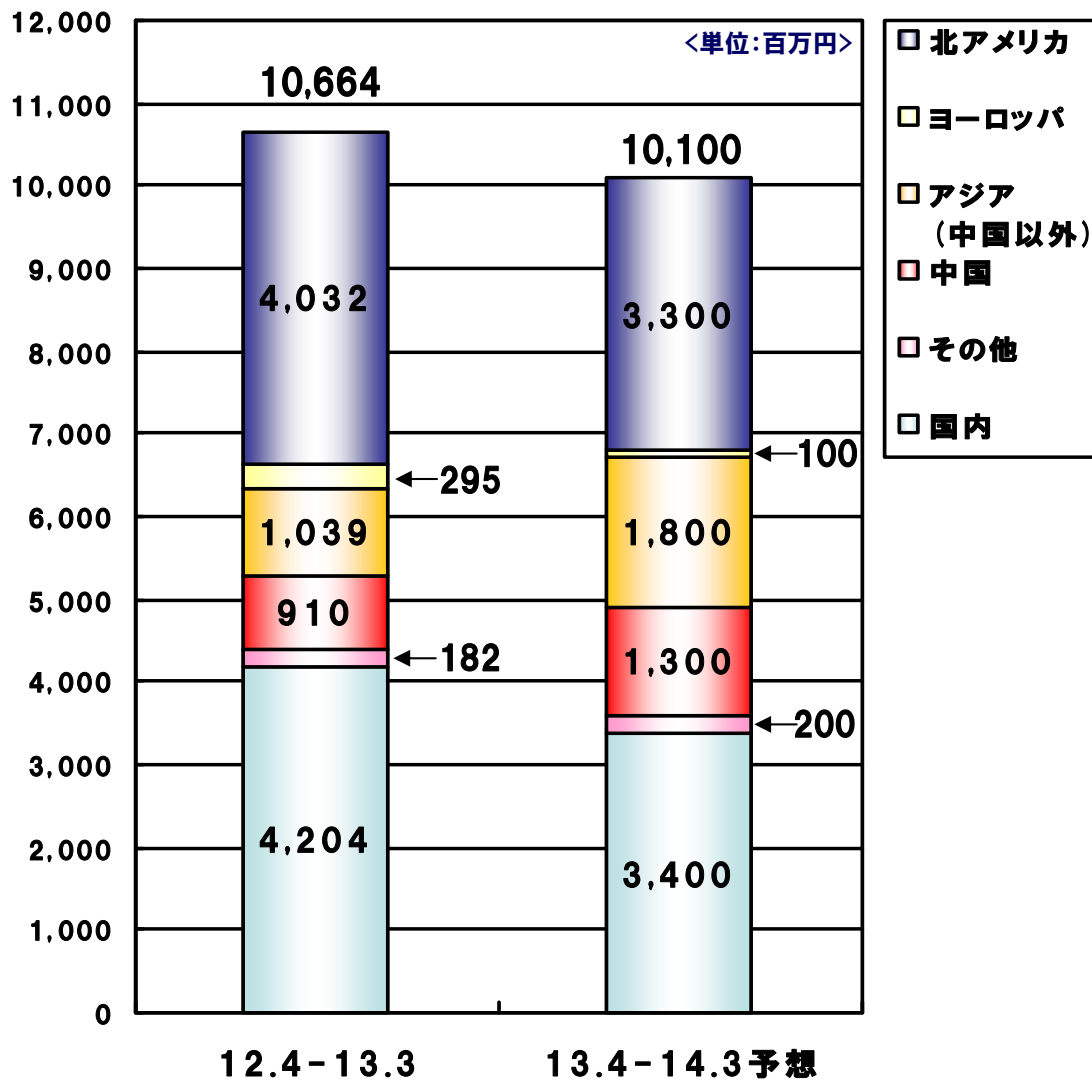
機種別売上高(単体)



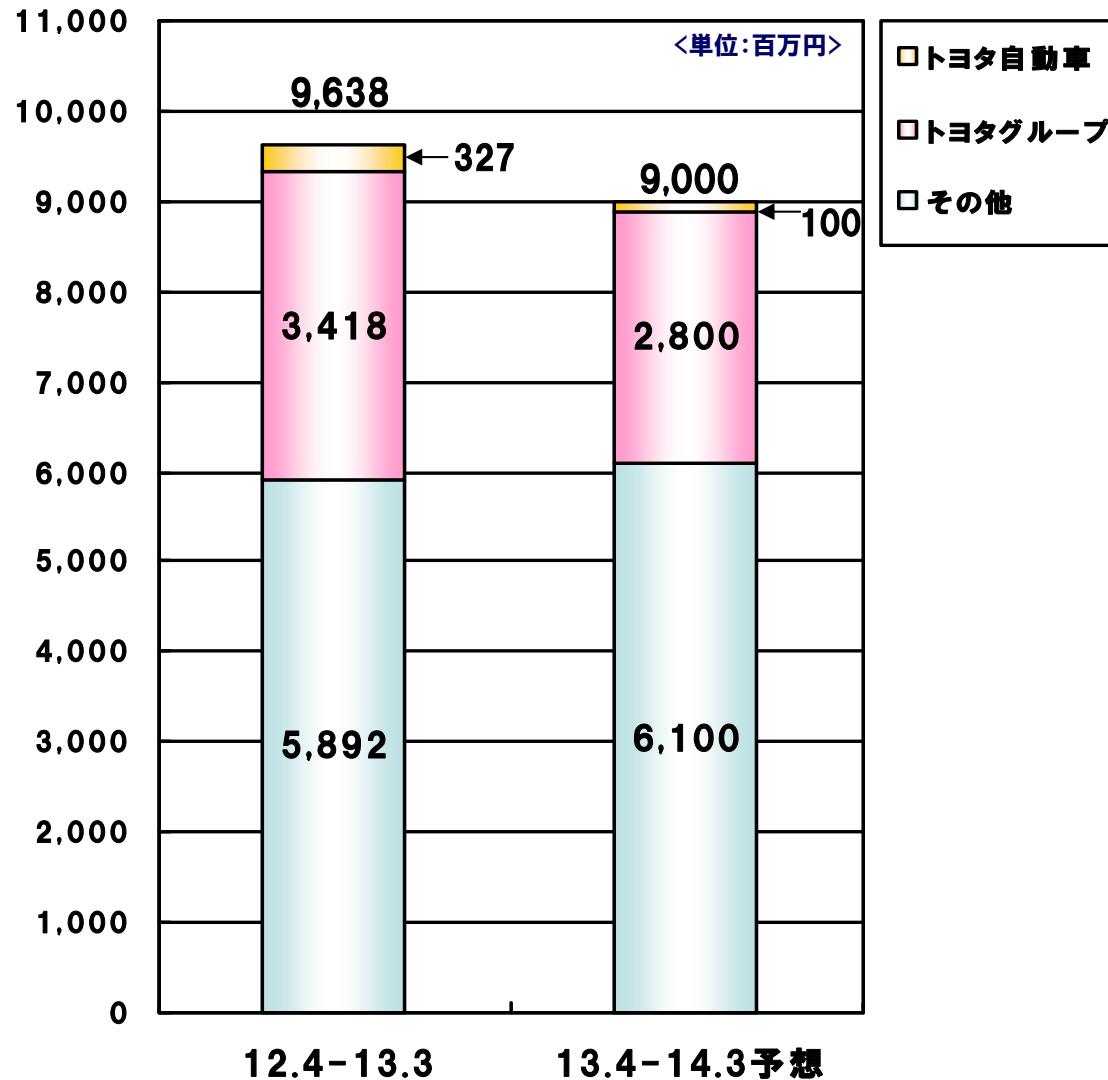
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)

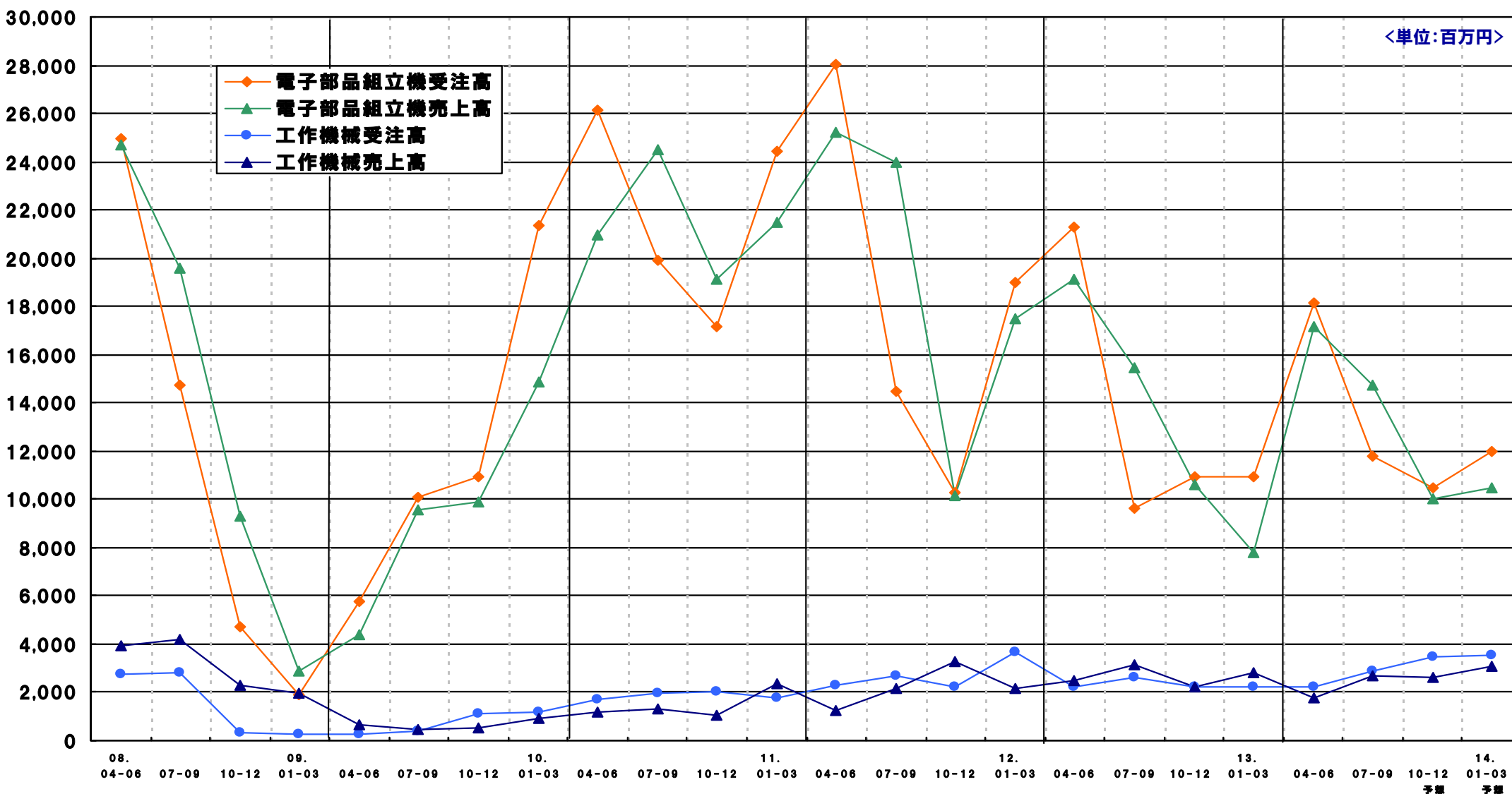


主要ユーザー別売上高(単体)



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

真のNo.1ブランドの確立

- ・次世代製品開発、製品競争力強化
- ・国内・海外販売網の絶えざる強化
- ・ソリューション営業の進化
- ・一步先行く品質、サービスの提供

工作機械事業

利益体質の構築

- ・革新的製品の迅速な開発
- ・製造コスト削減、リードタイム短縮
- ・海外展開の加速

スピード経営の推進

～早く知り、早く手を打つ～

開発センター

イノベーションの創出

- ・市場ニーズを先取りした商品化、事業化
- ・次世代要素技術開発
- ・特許戦略の強化

全社

連結経営の強化

- ・グローバル化の推進
- ・組織の活性化・スリム化、人材の育成
- ・コンプライアンスの徹底
- ・環境対応強化

電子部品組立機事業

事業部方針

『Market Leader30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- ➔ 日本:引続き緩やかに回復も消費税引上げによる腰折れ懸念、設備投資促進策
- ➔ 世界:緩やかな回復基調、米国デフォルト懸念、欧州圏は回復の兆し
- ➔ 中国、東南アジア、南米を中心とした新興国の成長鈍化

■マウンター需要は、緩やかな回復を見込む

- ➔ 市場規模:2012年度 約1,800億円(上期1,100億円、下期700億円)
2013年度 約1,800億円(上期1,100億円、下期700億円)見込
- ➔ 短期展望:スマホ、タブレット市場が牽引、廉価版スマホの台頭
ウェアラブル端末市場の形成
設備投資マインドの回復、生産拠点の分散および本国回帰
- ➔ 中期展望:中国その他新興国を中心に底堅く推移
新商品、新興国需要の拡大が牽引役
中国ローカルブランドの成長、グローバル化
- ➔ 市場の変化への迅速かつ柔軟な対応
 - ・ 高精度、高密度、混載、基板内蔵など高付加価値実装
 - ・ 高品質、高稼働率、自動化要求への対応

電子部品組立機事業

事業戦略

トータルソリューションビジネスの拡充

営業

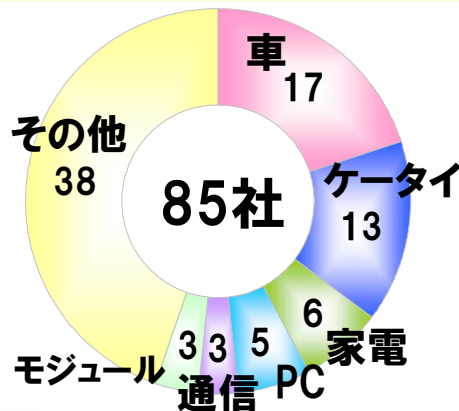
- ➡ 市場開拓・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ➡ 中国・東南アジアの販売網拡充、代理店の育成
- ➡ セールスツールの徹底見直し
- ➡ 営業・開発・生産 三位一体の活動による顧客満足度向上

開発

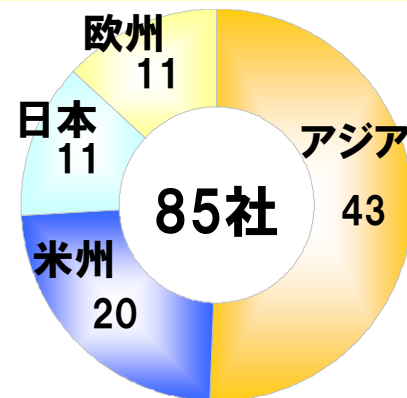
- ➡ 高付加価値実装、自動化・省人化、SMT後工程への取り組み
- ➡ 徹底したVA, コストダウン設計
- ➡ モジュール型高速多機能装着機「NXT III」をリリース

生産

- ➡ 競争を圧倒する品質の提供、生産改革、短納期対応
- ➡ サプライチェーンの強化によるQCDの徹底



新規獲得顧客
(含 既存顧客新Div)
2013年4-9月



2008年度	82社
2009年度	98社
2010年度	178社
2011年度	137社
2012年度	103社

工作機械事業

事業部方針

『利益体質の構築』

事業環境・戦略

■ 内需が堅調な伸び、外需は横ばい傾向

- ▶ 米国は堅調に推移、欧州は回復基調、中国を筆頭にアジアは低迷
- ▶ 日工会の2013年受注額は1兆1,000億円予想
中国需要の持ち直し、国内、米国の好調な需要に期待

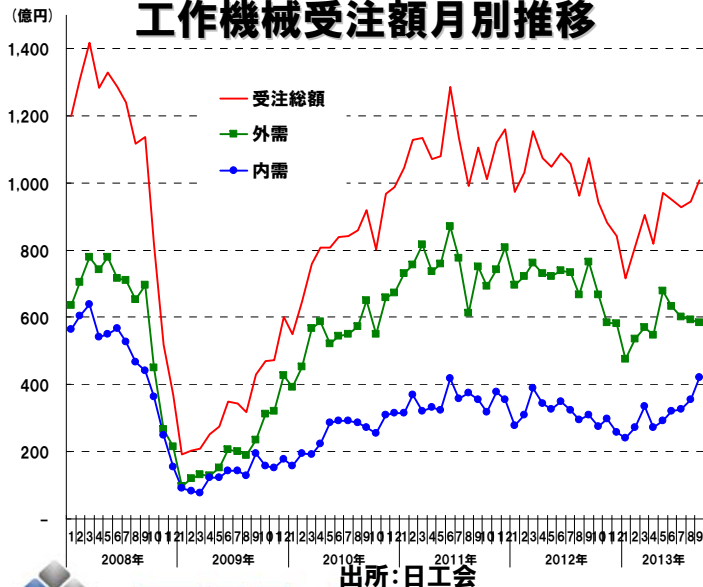
◆ 主力製品(TN・CSDシリーズ)の拡販、新コンセプトマシン「DLFn」市場投入

- ▶ 新興国での販売力強化
- ▶ 自動車産業をターゲットとした市場戦略

◆ 事業基盤の徹底強化

- ▶ 生産効率のあくなき改善、昆山富士での現地生産体制の確立

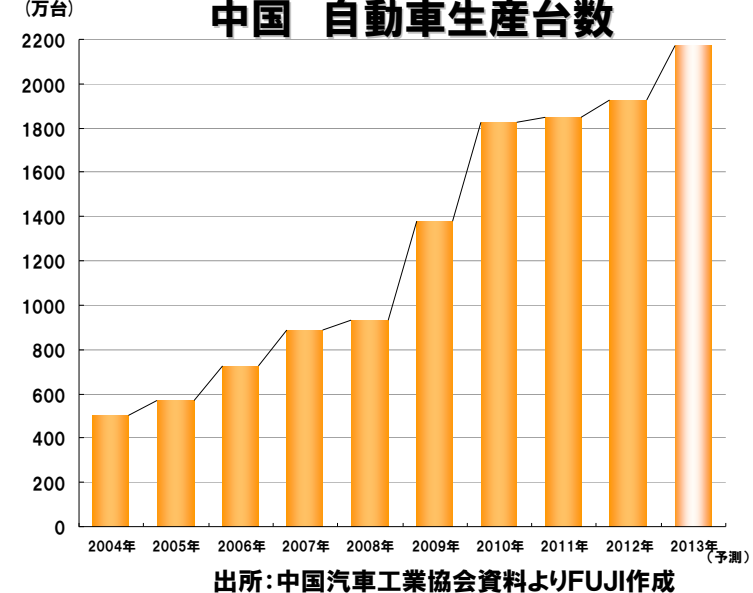
工作機械受注額月別推移



世界 自動車生産台数



中国 自動車生産台数



事業展開

■既存事業のさらなる拡充

- ◆ 電子部品実装ロボット
- ◆ 工作機械



モジュール型多機能装着機
「NXT III」



モジュール型生産設備
「DLFn」

■既存技術を応用した新分野への事業展開

- ◆ 組立ロボット
- ◆ アシストロボット
- ◆ プラズマ処理装置



モジュール型自動組立機
「SmartFAB」



アシストロボット
(開発中)



超高密度大気圧プラズマユニット
「Tough Plasma」

■異分野への事業展開

- ◆ シナジー効果の得られるビジネス
- ◆ 新しい領域、異次元の事業領域へのチャレンジ



FUJI

innovative spirit